

中国自然歩道

匹見峡コース



裏匹見峡

いなかの道を、リュックでもかっついでのんびりと歩いていると、おもわないとこ
ろで清らかな小川や、名も知らないかわいい花に出会うことがあります。また、
道ばたにぼつんと立っている朽ちかけた道標みちしるべが、その地方の歴史を語りかけて
くれる時があります。こんな忘れられそうなふさふさの美しい自然や文化的遺
産を、中国5県が協力して一本の歩道で結んでいます。それが中国自然歩道です。
この自然歩道の延長は、中国5県でも約1,900km、県内でも約537kmという長い
ものです。このような長い自然歩道のうち、県内でも特にみどころの多いコース
をモデルコースとして紹介します。

さあ、美しい自然やふるさとの歴史を求めて、自然歩道にとび出しましょう。

コースの概要

匹見峡ひきみきょうコースは、美都町・匹見町境の堀越峠から国定公園に指定されている表匹見峡を経て、日原町に至るルートです。

このコースの見どころは、島根県の渓谷美を代表する表匹見峡と渓谷沿いの自然林で、春の新緑、秋の紅葉、冬の雪景色と四季を通じてすくえた景観がみられます。

また、付近には、表匹見峡、裏匹見峡などの景勝地もあり、岩と水と緑の織りなす清
烈な渓谷が訪れる人を魅了することでしょう。

見どころ

●堀越峠

美都町と匹見町の境にある海拔800mの峠。西中国山地の山々が一望できる絶好の展望地である。

●奥匹見峡

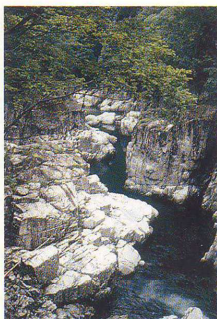
匹見川の支流、三の谷川に沿い約2kmにわたって展開する峡谷で、「大竜頭」などの雄大な滝が多く、表裏匹見峡とは異なった景観となっている。また、峡谷の両岸は岸壁となっていて、ホンシャクナゲの群落がみられ、5月には美しいピンクの大輪の花が咲く。



奥匹見峡

●道川城跡

源平合戦以後、この地に移り住んだ齊藤佐衛門実村の後裔が築城したと伝えられる。小高い丘の上からは、匹見川や道川の集落が展望できる。



表匹見峡・小沙夜淵

●表匹見峡

白木谷断層うすきだにと呼ばれる断層線に沿って、匹見川が浸食されて形成された約4kmにわたる渓谷で、魚飛うかび、長淵、屏風ヶ浦など深い淵が連続している。全体の景観は、奥匹見峡、裏匹見峡に比べて穏やかである。また、春には川辺のキシツツジが花をつけ、清流に映え美しい。

●裏匹見峡

広見川の上流、保矢ヶ原から約4kmにわたって展開するスケールの大きい渓谷で、匹見峡レストパークが整備されている。夫婦淵めがとに始まる景観は、五段の滝、平田淵などと続き、男性的な景観を展開する。また、この一帯には、ヤマメ、ゴキなどの溪流魚や珍しいヤマセミ、アカショウビンなどの鳥類もみられる。

●齊藤源吾の墓

天正年間、小松尾城主・益田兼任の命を受けた齊藤因幡守に攻め滅ぼされた笹山城主・齊藤源吾とその子供の墓。落合地区の高台上、悲運の最期を象徴するかのよう、ひっそりと立っている。

●小松尾城跡

鎌倉時代に、この地方の豪族であった澄川基秀の3男基利が建てたと伝えられる。天然の掘割りを利用した強固な城であった。

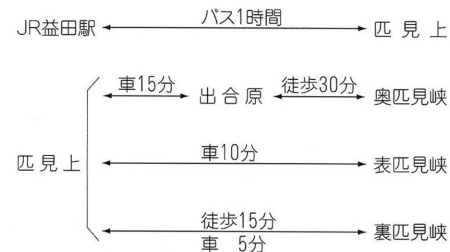
●匹見峡温泉 やすらぎの湯

温泉は岩風呂、檜風呂、薬草風呂、サウナ、露天風呂と種類豊富で男女それぞれ100人が一度に入浴できる広さ。効能は神経痛、関節痛、五十肩、冷え症、疲労回復などに効果があるといわれている。食事、休憩、宿泊もできてゆったりくつろげる。

●匹見ウッドパーク

匹見町の美しい自然の中で憩い遊ぶための宿泊交流施設。世界のパズル館、展示館、研修室からなっている。パズル館には世界の珍しいパズルや匹見町で制作している木製パズルを展示。

交通



自然を大切に ゴミは持ち帰りましょう

自然歩道はみんなの歩道です。ルールを守って利用してください。

- 1.コースについてはあらかじめ距離・時間・交通機関などについて十分検討し、余裕のあるスケジュールをたてましょう。
- 2.天気予報には十分注意し、天候が悪くなったら、予定を変更したり中止する勇気をもちましょう。
- 3.歩行中は禁煙です。たばこは必ず喫煙所で吸いましょう。
- 4.動植物を傷つけないようにしましょう。
- 5.ゴミは持ち帰るようにしましょう。

お問い合わせは

島根県環境生活部景観自然課
〒690-8501 松江市殿町1番地 ☎(0852) 22-5348